

# 指定管理業務モニタリング評価結果

企業総務課

## 1 要旨

県営水道における指定管理者制度導入施設について、毎月の報告書や実地の立ち入りによりモニタリングを実施している。この度、令和2年度第3四半期（令和2年10月～令和2年12月）の業務が終了したため、業務の実施状況について評価を行った。

## 2 評価結果

### ① 広島西部地域水道用水供給水道（第2期3年目）

対象業務		広島西部地域水道用水供給水道	
指定管理者		株式会社水みらい広島	2期目 H30.4.1～R5.3.31
評価期間		令和2年第3四半期（令和2年10月1日から令和2年12月31日まで）	
総評		A	S：優良（要求水準以上の取り組みを実施している項目がある） A：良好（各項目の要求水準をすべて満たしている） B：要改善（各項目のうち要求水準を満たしていない項目がある）
業務履行状況	項目	評価	評価内容
	1 運転監視	○	要求水準書に基づいた適正な運転監視が実施されている。
	2 水質管理	○	水質基準に基づいた適正な水質管理が実施されている。
	3 施設管理	○	事業実施計画に基づいた点検等が適正に実施されている。
	4 データ管理	○	点検結果や業務内容等の書類管理が適正に実施されている。
	5 委託・修繕	○	事業実施計画に基づいた適正な委託・修繕が実施されている。
	6 その他	○	清掃、環境衛生管理、地域貢献等が実施されている。
品質向上等に向けた取組		<input type="checkbox"/> ポンプ等機械設備の健全度を把握するため、機能診断を実施し、その結果から機器ごとに機能診断表の作成を行っている。 今年度中に、事業所ごとに5基程度を選定して機能診断及び機能診断表の作成を実施し、来年度以降は、作成した機能診断表の更新を月次点検を通して実施していく予定としている。	
提案項目への取組		<input type="checkbox"/> 9月より白ヶ瀬浄水場と三ツ石浄水場の双方向監視体制での運用を開始し、支障なく運用している。 三ツ石浄水場の周辺監視カメラの画像及び警報を白ヶ瀬浄水場に転送するシステムを導入し、危機管理体制の強化に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 薬品注入の自動化に向けて、AIの判断した注入率と手動での注入率との比較検証を行い、AIの学習を進めている。	
その他課題、要望事項等		<input type="checkbox"/> 機器ごとの機能診断表の作成を進め、適切な修繕の実施及び更新時期の検討を行っていくこと。また、沼田川においても導入していくこと。 <input type="checkbox"/> 双方向監視体制の仕組を他の施設に導入するにあたり、運用開始前に想定した課題やその後に発生した課題の解決策の整理を進めること。	

### 【評価基準】

◎：要求水準以上の取り組みを実施している

○：要求水準をすべて満たしている

×：要求水準を満たしていない項目がある

② 沼田川工業用水道及び沼田川水道用水供給水道（第2期1年目）

対象業務		沼田川工業用水道及び沼田川水道用水供給水道	
指定管理者		株式会社水みらい広島	2期目 R2.4.1 ~ R5.3.31
評価期間		令和2年第3四半期（令和2年10月1日から令和2年12月31日まで）	
総評		A	S：優良（要求水準以上の取り組みを実施している項目がある） A：良好（各項目の要求水準をすべて満たしている） B：要改善（各項目のうち要求水準を満たしていない項目がある）
業務履行状況	項目	評価	評価内容
	1 運転監視	○	要求水準書に基づいた適正な運転監視が実施されている。
	2 水質管理	○	水質基準に基づいた適正な水質管理が実施されている。
	3 施設管理	○	事業実施計画に基づいた点検等が適正に実施されている。
	4 データ管理	○	点検結果や業務内容等の書類管理が適正に実施されている。
	5 委託・修繕	○	事業実施計画に基づいた適正な委託・修繕が実施されている。
	6 その他	○	清掃，環境衛生管理，地域貢献等が実施されている。
品質向上等に向けた取組		<input type="checkbox"/> 不断水で施工可能な紫外線硬化型FRPシート工法を用いて11月に管路漏水事故の復旧工事を実施し，更に漏水時の対応が迅速かつ安価で対応できるよう，この工法の自社施工に向けて，施工技術の取得を進めている。 <input type="checkbox"/> 坊士事業所において，事業年報を作成し，中央監視装置からの水量傾向や水質状況などのデータを可視化することで，浄水運用の効率化を図っている。	
提案項目への取組		<input type="checkbox"/> 水中ロボットを用いて，外観劣化が著しい幸崎調整池の内部劣化状況調査を実施し，年度内には，前回点検からの変化を経過観察するため，坊士浄水場の浄水池内部の点検や，新たに西部の弥栄取水塔の点検を検討している。	
その他課題，要望事項等		<input type="checkbox"/> 漏水対応に活用できる紫外線硬化型FRPシート工法について，施工技術の取得を進めていくこと。 <input type="checkbox"/> 施設の更新検討の資料として活用するため，水中ロボットの点検結果を情報共有すること。	

【評価基準】

- ◎：要求水準以上の取り組みを実施している
- ：要求水準をすべて満たしている
- ×：要求水準を満たしていない項目がある